



直峰通信

令和5年9月13日(水)発行

自己表現活動、面接体験

8月24日(木)、25日(金)の2日間、総合的な探究の時間で進路実現のため、自己表現活動、面接体験を実施しました。夏季休業中も生徒たちは応募前職場見学会やオープンキャンパスなどの学校説明会に参加するなど精力的に活動しました。三者面談で応募先や志願先を決定し、いよいよ出陣の時が近づいてきました。就職希望者に対しては、ハローワーク上越 古川 三枝 様をお招きし、面接体験を行いました。生徒たちは皆、志望理由はきちんとまとまっています



【経験や強みを自分の言葉で表現しよう】

ができませんでした。「簡潔に分かりやすく、短いセンテンスで答える」などのアドバイスをいただき、回数を重ねるごとに、少しずつ自分の考えや良さを表現できるようになりました。

自信を持って試験に臨めるようになるためには、とにかくリハーサルやイメージトレーニングを繰り返し、自信がつくまで行うことが大切だと思います。伝えたい要点をしっかりと押さえ、相手を見て、ゆっくり堂々と自分の言葉で話しましょう。最初に結論から述べ、自分の経験やエピソードなどを加えて具体的に説明できれば、説得力のあるものになるはずですが、面接は誰でも何歳になっても緊張するものです。緊張するのがあたりまえ、緊張を隠すのではなく、緊張して良いと考えるようにしましょう。むしろ適度に緊張していた方が高いパフォーマンスを発揮できます。

また、何事にも失敗はつきものです。あまり完璧を求めすぎると、些細なミスやトラブルに対応できません。失敗するのはあたりまえ、失敗も受け入れましょう。大切なことは、今の持っている力を発揮することです。最後まで諦めずに粘り強く取り組めば、必ず結果はついてきます。皆さんの健闘を願っています。

教職員、保護者研修会

8月29日(火)、講師に新潟県ゲートキーパー協会 理事 漆間 和美様をお招きし、教職員、保護者を対象とした「味方になりきるコミュニケーション講座」を実施しました。ゲートキーパーとは、特別な人、専門家ではなくても、誰でもそれぞれの立場で、できることをできる範囲で行動する人のことを言い、気づき、声掛けのポイント、傾聴の方法など講師の先生が実際に経験したエピソードや2人組になってのワークショップを交えながら、分かりやすく講義をしていただきました。



【保護者の方も参加しての研修会の様子】

傾聴するときには、「聞き手」ではなく、「聞き役」に徹すること。「役」を演じることが必要であること。2組になってやったワークショップでは、普段、自分たちでも気づかずに使っている言葉や態度に気づき、ハッとする場面もありました。「沈黙は考える大切な時間。質問すると相手を追い詰めてしまうことになる。」「結論を迫る。最初にこの言葉はつらい。」「伝わりやすい、相手が理解できる言葉を使う」など学んだことを活かして、誰に対しても気持ちよくコミュニケーションを取ることができるようになり(味方になれるように)なりたいと思いました。

命の大切さを学ぶ教室

8月30日(水)、県立新井高等学校 教諭 新井 久美子 様を講師にお招きして、「自分らしく生きるために～性について考える～」と題し、命の大切さを学ぶ教室を実施しました。

生徒は新井先生から出された質問について事前に考え、講演会に臨みました。①『『男の人』と『女の人』の違い。』②『『女性は・・・』『男性は・・・』に続いて思い浮かぶ言葉。』③「自分の性別は何か。考えたことはあるか。」など、「からだの性」、「こころの性」、「社会の性」、「性的指向」について自分の性について考えました。



【セクシュアルマイノリティ生徒交流会の活動もしている新井先生】

人間にある46個の遺伝子情報のうち、1個の情報だけが男女を分けているのだそうです。外見から見た違いについては、「この人は〇〇だから、男の人だろう。」や「この人は××だから、女の人だろう。」「男の人だから(女の人だから)・・・△△のはずだ。」というのは、社会につくられた違い(ジェンダーステレオタイプ)だということ。すべての性はグラデーション。みんな人それぞれ個性があるように、性の在り方も様々であり、男と女の2つに分けて見ること自体に危うさがあります。多様性を認め合い、自分らしく生きるために「自分がなにもものなのか」自分自身で決めて、もしくは決めないで生きていくことができる社会をつくっていくことが大切だと思いました。

～生徒の感想の一部を紹介します～

- ・「性について考えるいい機会になりました。セクシュアルマイノリティの人々のための法整備が日本では不十分であり、変えていかなければいけないと思った。自分のやりたいことをすることの大切さ、自分の思っていることを話す大切さがよく分かりました。新井先生が言っていた、『辛いことや困ったことがあっても深刻に考えず、寝転んで休めばいい』くらいの気持ちで、命を大切にこれから過ごしていきたい。」
- ・「一人ひとり違って、自分の考えで決めていいということが分かりました。(自分も)自分らしく生活していきたいです。」

10月の主な行事

10月3日(火)～5日(木) 2学期中間考査

10月13日(金) 1～3限 平常授業、午後 閉校記念式典会場設営・準備

10月14日(土) 閉校記念式典 9時30分開式、式典後、記念講演会、同窓生の集い

※10月16日(月)は閉校記念式典の代休日となります。

10月25日(水) 人権教育、同和教育事前指導

10月27日(金) 校内マラソン大会(リバーサイドロードを走ります。お近くの方は応援してください。)

10月30日(月) 遠足・地域学習(方面等、調整中)

<スクール・カウンセラー 中井良和先生 来校予定日>

*10月のSC来校日は、10月2日(月)、13日(金)午前、27日(金)となります。保護者の皆様の面談も可能です。相談内容は問いませんので、面談希望の場合は、担任までお知らせください。

☎ 安塚分校閉校記念式典 日時:令和5年10月14日(土) 午前9時30分開式 於:安塚分校体育館



新潟県立高田高等学校安塚分校

【担当 教頭 滝澤 祐樹】

〒942-0411 上越市安塚区下方 129 番地 Tel 025-592-2306 FAX 025-592-3541

HP <http://www.takada-h.nein.ed.jp/>

mail school@takadayszk-h.nein.ed.jp

